

【熊本S.J.C.D.例会抄録】

演題 歯科における口腔内審美写真撮影テクニックと忠実再現

Aesthetic photography techniques and faithful reproduction of oral
cavity in dental

演者名 **岩崎智幸** 先生(略歴参照)

日付 2017年8月22日

抄録

失われた歯牙の一部分や全部の機能を回復し、なおかつ審美性を損なわないように補綴物を歯科医師の指示のもと作成を行うのが歯科技工である。しかし審美領域における修復の際、石膏歯型模型の情報を読み取るだけで回復はできない。色の情報が必要である。歯科技工士が補綴を作成する患者の口腔内を必ずしも見ることができるとは限らない。歯牙の色の情報を歯科医師から受け取る為に写真を必要とする。また製作過程や補綴物を口腔内に装着した状態での口腔内の状況を記録、伝達する手段としても、写真は非常に有効な手段である。

ではその写真は忠実にそのものを記録することが出来ているのか。どのような環境光の状況下でそのものを評価した状態を記録しているのか。そのスタンダードラインが必要となる。

その為には写真を撮影する為にカメラ本体とレンズとストロボの機材が必要となる。この三者の組み合わせと調整で、撮れる写真が決まる。環境光の再現に必要な組み合わせと調整は求める環境光により異なる。写真による忠実再現の理を再認識したい。

講師略歴

- 1982年9月11日熊本県葦北郡生まれ
- 2002年3月熊本歯科技術専門学校卒業
- 同年4月有限会社デンタルトラスト入社
- 2003年4月医療法人かどおか歯科医院入社
- 2008年度大阪セラミックトレーニングセンター宮崎校(週末コース卒業片岡賞受賞)
- 2013年1月熊本市中央区大江にて独立開業
- 2015年7月ニコプロフェッショナルサービス審査合格
- PhotoLogic代表・StudioIMO所長
- ニコンNPSメンバー
- 大阪セラミックトレーニングセンター宮崎校非常勤講師
- I.O.R写真顧問
- FIDI写真講義担当
- 小濱コース写真講義担当
- 川寄塾photogenicインストラクター